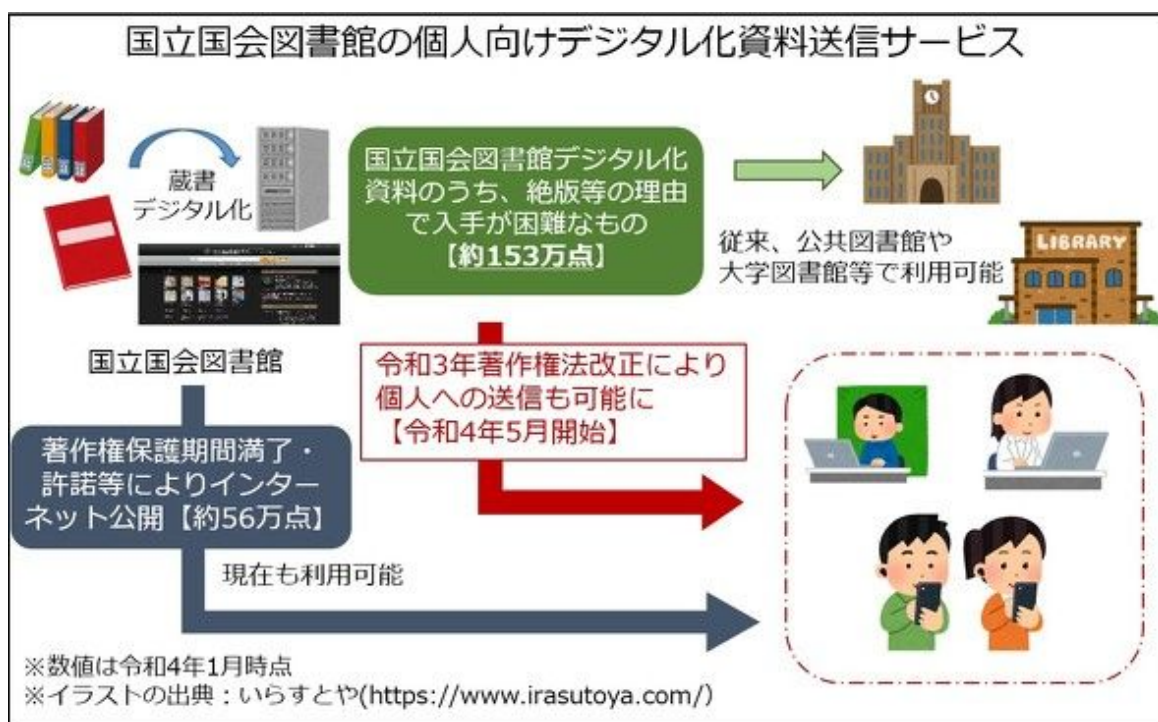


[itmedia.co.jp](https://www.itmedia.co.jp)

国立国会図書館が所蔵する絶版本、PCやスマホで閲覧可能に 約**153**万点 きょうから

[ITmedia]

国立国会図書館は5月19日、絶版になった本など入手困難な資料を、個人がネット経由で閲覧可能にする「個人向けデジタル化資料送信サービス」を始めた。同図書館が収集する資料をデジタル化したもののうち、3カ月以内に入手困難な状態が解決する可能性が低い約**153**万点を閲覧可能にする。



サービスのイメージ

閲覧できる資料の内訳は、1968年までに収集した図書約**55**万点、古典資料約**2**万点など。明治以降に発行された雑誌のうち、商業出版されておらず、刊行から**5**年以上が経過した資料約**82**万点も含む。

資料種別	概要	資料リスト (令和4年5月時点)	
		Excel (xlsx) 形式	TSV形式 (ZIP圧縮)
図書	昭和43年までに受け入れた図書、震災・災害関係資料の一部 約55万点	分割1 (xlsx: 30.3MB) 分割2 (xlsx: 26.5MB)	分割1 (zip: 11.6MB) 分割2 (zip: 10.1MB)
古典籍	明治期以降の貴重書等や清代後期以降の漢籍等 約2万点	(xlsx: 1.0MB)	(zip: 226KB)
雑誌	明治期以降に発行された雑誌 (刊行後5年以上経過したもので、商業出版されていないもの) 約1万タイトル (約82万点)	(xlsx: 1.0MB)	(zip: 513KB)
博士論文	平成2～12年度に送付を受けた論文 (商業出版されていないもの) 約13万点	(xlsx: 10.5MB)	(zip: 6.8MB)

資料の内訳 (国立国会図書館公式サイトから引用)

日本に住む、国立国会図書館の利用登録を済ませた個人を対象に提供する。サービスの利用料は無料。利用登録はネットでも済ませられる。当面はPCやスマートフォン、タブレット端末での閲覧のみ可能だが、**2023年1月**をめどに資料を印刷できるサービスも提供する。

国立国会図書館はすでに、同様のサービスを公共図書館や大学図書館向けに提供している。一方で個人向けには提供しておらず、著作権保護期間が満了となった資料約**56万点**のみ、絶版本などとは別にネット経由で閲覧できるようにしていた。

しかしコロナ禍でデジタル資料の需要が増したことを受け、政府が**2021年6月**に著作権法を改正。これにより、デジタル化した絶版本などをネット経由で個人に送信できるようになったことから、今回のサービス開始に至った。

Copyright © ITmedia, Inc. All Rights Reserved.